

パブリックコメントの実施状況について

実施期間：平成19年7月2日（月）～7月31日（火）

意見及び提案者数：2名

意見及び提案件数：6件

No	項目又はページ数	意見・提案の内容	意見等に対する本市の考え方
1	p.13 教育環境と 生涯学習について	<p>現在私は、「八洲学園大学」という通信制大学を利用して、博物館学芸員と図書館司書の資格をとろうとしているが、この大学では、「家庭教育」「生涯学習」を教育の主題においている。</p> <p>家庭での教育と、学校図書館を利用した児童の「調べ物学習」を通じて、基礎学力を向上させることにも関心があるようだ。</p> <p>家庭と学校の両方で、児童の学力向上が成り、大崎市全体の教育水準が全国平均よりも高くなれば、企業も移転先として興味を示すであろうし、子供を連れて転居してくる人も増えることも考えられる。</p> <p>また、新興大学であるがゆえに、(その宣伝という意図があるとしても)好意的な協力も期待できる上、事業団設立の構想もあり、組織的協力体制もできると思われる。</p> <p>高齢層に対するに講座が少ないが、学生層自体は広いので、将来、総合的な講座の開設も期待できるのではないかと。</p>	<p>ご提案の内容につきましては、児童・生徒の個性と生きる力や学習意欲を育みながら、学校と家庭、地域との連携を強化し、子どもたちが心豊かに成長していくための教育環境の向上や高等教育のための環境整備について、基本計画の中で位置付けしたいと考えております。</p> <p>また、大学との協力体制につきましては、現在、宮城大学との連携・協力に関する協定を結んでおり、移動開放講座などを実施するとともに、今後も様々な連携と協力のもとに地域振興と市民の学習意欲に応えていくこととしております。</p>

No	項目又はページ数	意見・提案の内容	意見等に対する本市の考え方
2	<p>p.16 「自然と共生し環境に配慮したまちづくり」</p>	<p>市民憲章の前文の「恵みの森，奥羽山脈から湧き出る水は，大地を・・・」を受け，16ページには具体的に森の恵みを入れるべきである。</p> <p>即ち「奥羽山脈の栗駒国定公園の属する禿岳～軍沢岳～須金岳などの山並みや荒雄岳山塊は貴重なブナの森である。ブナの森の恵みは遺伝子の宝庫である生態系であるとともに，江合川水系の水源であり，保全していきたい。また「大崎市民の山」として荒雄岳の登山を呼びかけたい。</p>	<p>本市の宝の一つとして，森の恵み（ブナの森）は貴重な資源であることから，具体的な岳の名称の記載は別としても，本文中に追記したいと考えます。</p>
3	<p>p.20 第1章「市民が主役協働のまちづくり」 第3節「市民の生活を支える行財政改革の推進」</p>	<p>【実現に向けての主な取り組み】</p> <p>「1 行政評価の導入，行政情報の提供，市民意見反映のシステム化」の部分で「2 市民意見反映のシステム化」と独立させ，</p> <p>パブリックコメント（市民意見）の普及 パブリックリレーション（広報）の充実 を加える。</p> <p>広報などの予算化を図り，合併に伴う広報の縮小を拡大にかえる。市のホームページパブリックコメントは，まだパソコン人口が少ないから一般化していない。再考の要がある。</p>	<p>ご提言の内容は，市民意見反映システムの具体的な例をお示しされておりますが，ここでは，様々な手法が考えられますことから，それらを網羅した表現にしておりますことにご理解をお願いします。</p> <p>ご指摘のとおり，ホームページ上での意見聴取では範囲が限定されるため，本市では，本庁の市政情報課や各総合支所にも情報コーナー等を設置し，情報の提供を行うとともに，「ご意見箱」を設置し，市民皆様からのご意見等を頂戴しております。また，市民説明会や懇談会，各種審議会等を行い，市民意見の反映に努めているところですが，ご提言につきましては，今後の参考にさせていただきたいと考えます。</p>

No	項目又はページ数	意見・提案の内容	意見等に対する本市の考え方
4	<p>p.28 第2章「安全安心で交流が盛んなまちづくり」 第8章「みんなで取り組む平和と人権の尊重」</p>	<p>旧古川市は「核兵器廃絶 平和のまち古川市宣言」を行いました。そして市民のカンパでこの平和都市宣言文を吉野作造記念館前広場に建立し、ふるかわ平和のつどいを10回開催してきました。また、市内小中学校平和作文コンクールを実施してきました。今年11月には「核兵器廃絶 平和のまち大崎市宣言」が発表されますので、これらの経過などを取り入れて下さい。</p> <p>即ち「私たちは日本国憲法の前文、九条に基づき「核兵器廃絶 平和のまち大崎市宣言」の実現を目指し、努力することを誓います」・・・と。</p>	<p>平和に関しての宣言や取り組みにつきましては、旧町でも行ってきた経過がありますことから、旧古川市のみを特記した内容にはできないこと、また旧各市町の取り組み状況をこの節だけ特別には記載できないことにご理解をお願いします。</p> <p>また、平和都市宣言につきましては、実施する方向で現在作業を進めており、準備が整い次第、宣言をさせていただきますので、しばらくの間お待ちいただきたいと思えます。</p>
5	<p>p.48 地域別まちづくり方針 1 古川地域 (1) 地域の特性</p>	<p>11行目に古川のまちづくり「緒絶川の清流化」を考えたい。即ち、10年前から古川第一小学校の総合学習「緒絶川」に触発されて、大崎市生き活きまちづくり21委員会、古川女性の会などが「緒絶川に清流をとりもどそう」を呼びかけた。藤まつりの復活、笹舟大会、清流化、清掃など市民の活動が続いている。</p> <p>千手寺橋～緒絶橋～中里・ト金橋などの「都市空間」には「かむろ」「リオーネ」の二極がある。これをつなぐ「まちづくり空間」の活性化は「清流をとりもどす」ことである。仙台市若林区七郷堀の水利権新設（H17年）にならって、大崎市も「環境水利権」取得できる。そして「年間通水」を実現し、まちづくりを図りたい。「コイ、ギンプナの住む、清流を取りもどした緒絶川のまちづくり」である。</p>	<p>市街地のまちづくりにおいては、緒絶川を活用した取り組みについて、歴史的かつ都市空間の形成といった視点からも重要であると考え、これまでも計画的な整備に取り組んでまいりました。</p> <p>また、古川地域全体では、北部丘陵に位置する白鳥と伝説の里・化女沼など多くの活用すべき資源があると認識しております。</p> <p>ご提言いただいた内容につきましては、今後も個別計画に位置付けるなどして、中心市街地のまちづくりに反映させていただきたいと考えております。</p>

No	項目又はページ数	意見・提案の内容	意見等に対する本市の考え方
6	<p>p.58 地域別まちづくり方針 6 鳴子温泉地域 (1) 地域の特性</p>	<p>10行目に大谷川水系には「宝の都 大崎」の鳴子峡があり、この自然環境の保全は肝要である。更にまるごと里山のホタルの里、南原がある。</p> <p>また、荒雄川水系には、鳴子ダムの上流域に禿岳山麓、高原や軍沢、そして江合川源流の荒雄岳山塊がある。いずれも後世に残す大崎の貴重な自然環境で、地域の文化とともに大切にしたい「宝の都 大崎」が沢山ある。</p>	<p>ご指摘のとおり、貴重な自然環境と認識し、大崎の宝としての位置付けから、No2の意見・提案の内容（森の恵み・ブナの森）と併せ、基本構想の「自然と共生し環境に配慮したまちづくり」に追記したいと考えます。</p>